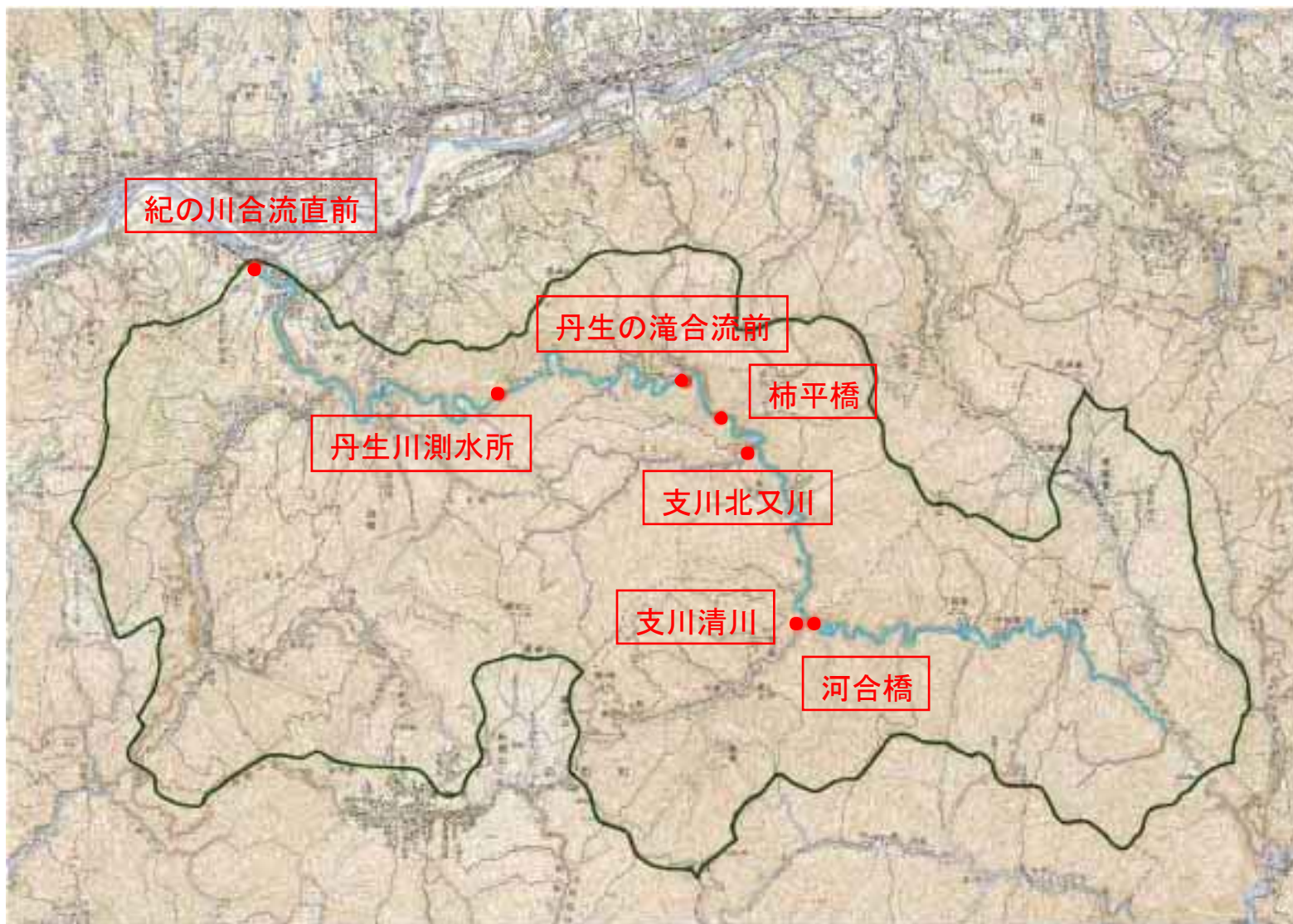


# 水質観測地点

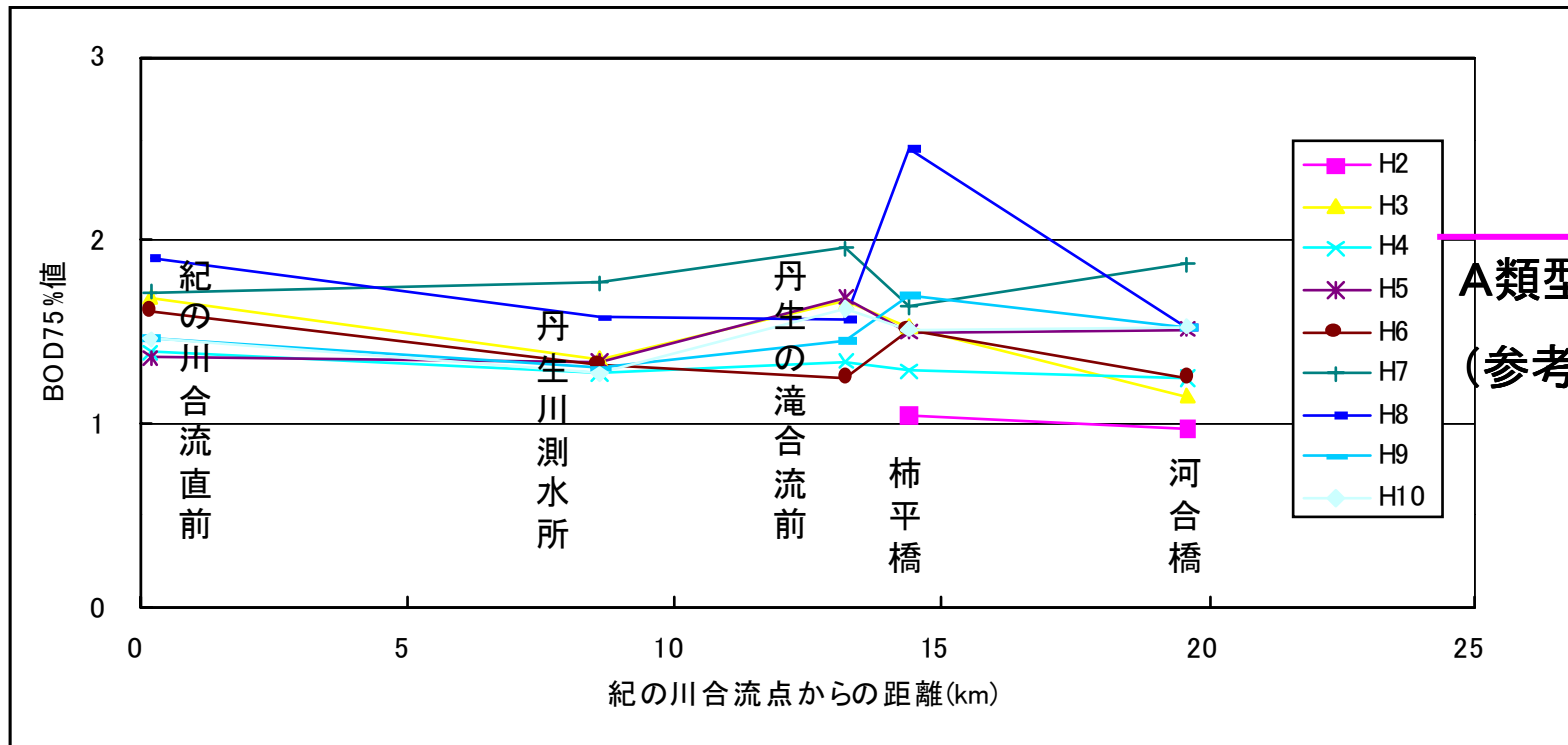


# BODの現状(縦断変化)

BOD (biochemical oxygen demand: 生物化学的酸素要求量)

水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量で、河川の有機汚濁を測る代表的な指標です。

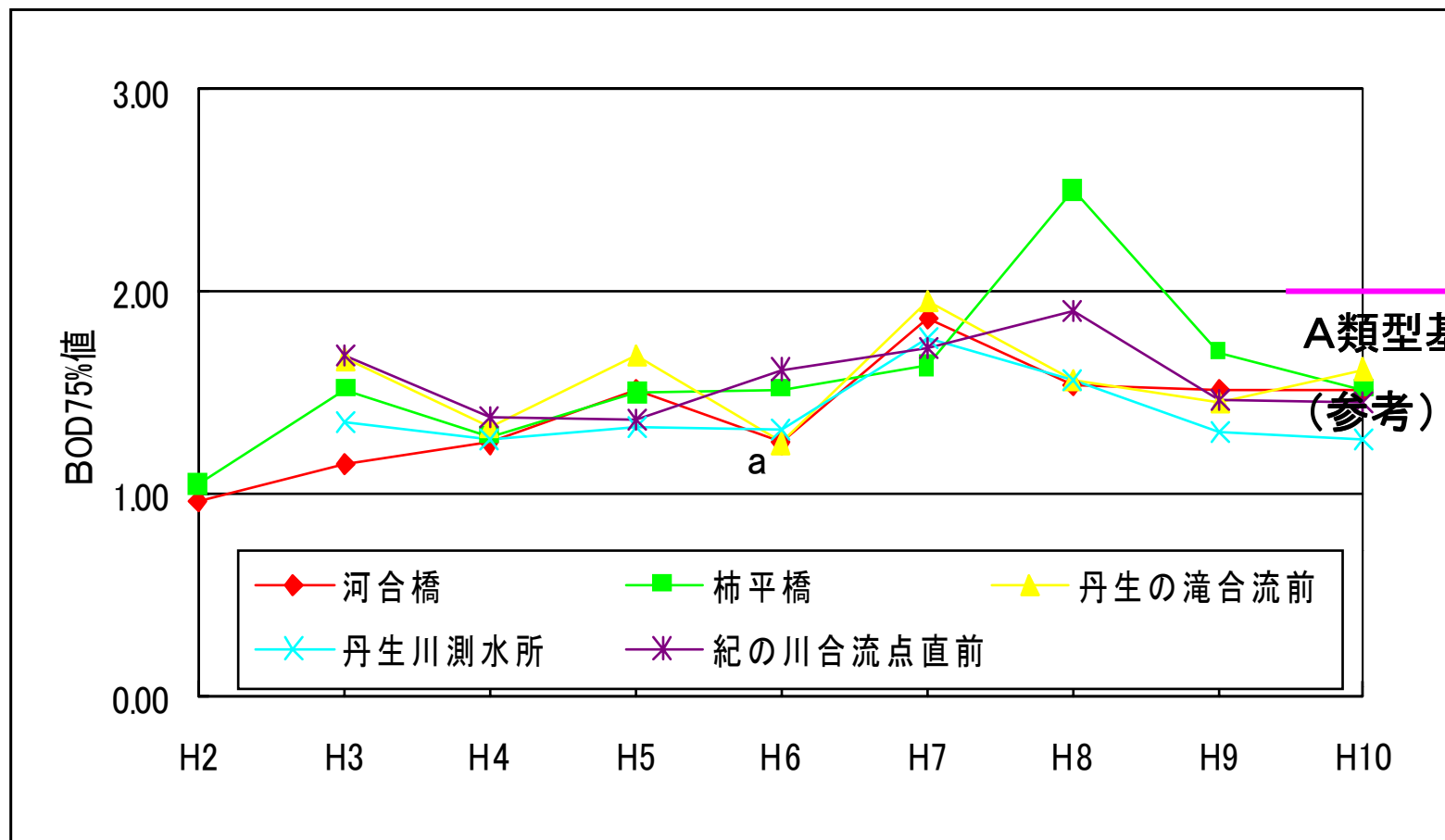
一般に、この値が大きくなればなるほど、水質汚濁が激しいことになります。



A類型基準値  
(参考)

縦断的な変化は小さくなっています。年代による変化は見られるものの、全地点において水質環境基準のA類型2mg/lを概ね下回っています。

# BODの現状(経年変化)

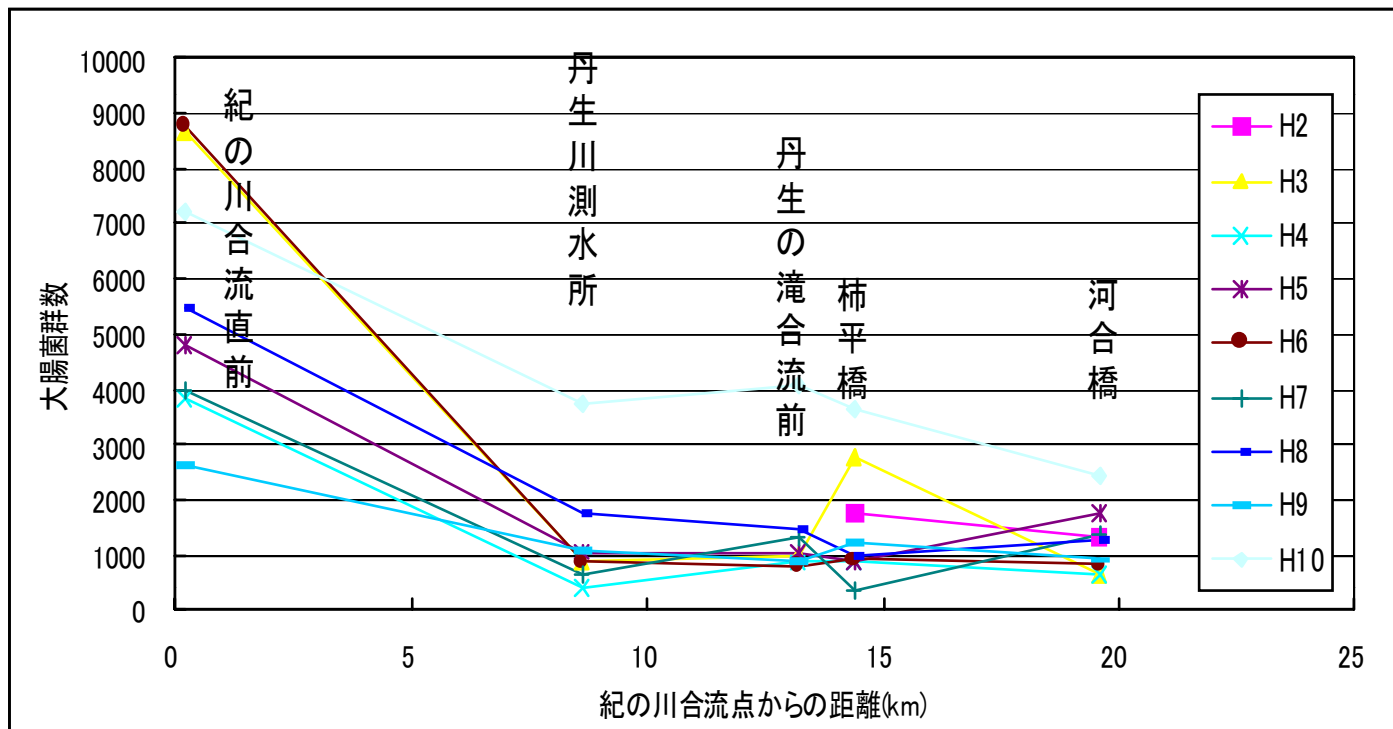


全地点において、平成5年までは水質環境基準のA類型2mg/lを概ね下回っています(全地点)。

# 大腸菌群数の現状(縦断変化)

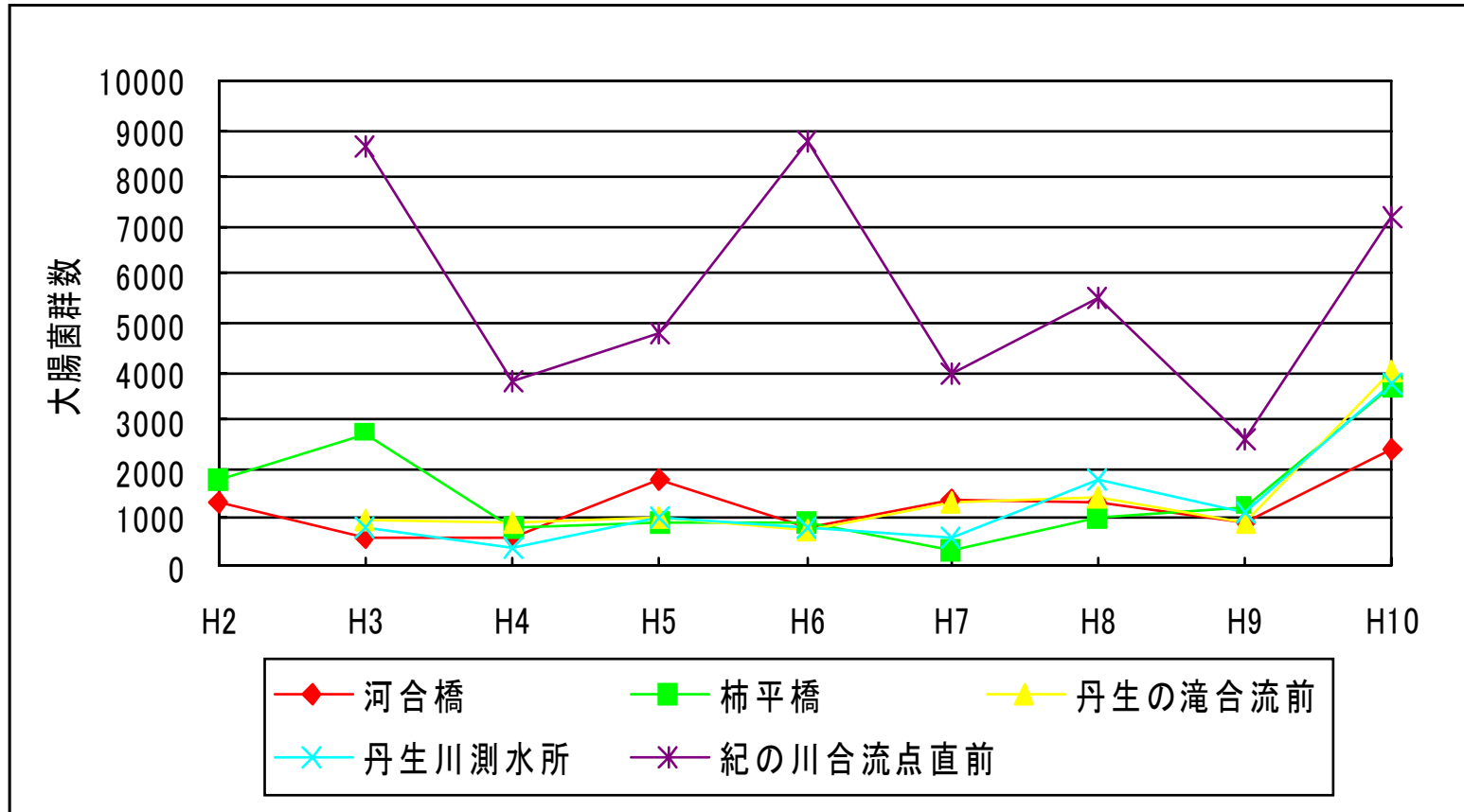
## 大腸菌群数

水中に存在する大腸菌の数を把握するものです。  
この値が大きければ大きいほど、水質汚濁が激しいことになります。



全地点で水質環境基準のA類型1000MPN/100mを上回っていますが、特に紀の川合流直前において大きな値を示しています。

# 大腸菌群数の現状(経年変化)



全地点で水質環境基準のA類型1000MPN/100mlを上回っていますが、特に紀の川合流直前において大きな値を示しています。